

# 第 59 回 横浜市発達障害検討委員会 次第

【日時】 令和 6 年 9 月 5 日（木） 18 : 30 ~ 20 : 30

【場所】 市庁舎 18 階会議室 みなと 4 ・ 5

## 1 開会

- (1) 事務局あいさつ
- (2) 委員・事務局の紹介
- (3) 委員長及び職務代理者の選出

## 2 議題

- (1) 令和 6 年度 横浜市発達障害検討委員会の検討内容について **【資料 1】**
- (2) 発達障害児・者に係る施策の取組について
  - ア 発達障害者等及び家族等への支援体制の確保に係る取組について **【資料 2】**  
**[答申関連項目] I ・ II ・ III ・ IV**
  - イ 地域療育センターにおける事業の実施について **【資料 3】**  
**[答申関連項目] I ・ II ・ III ・ IV**
  - ウ 学齢後期障害児支援事業の実施状況について **【資料 4】**  
**[答申関連項目] I ・ II ・ III ・ IV**
  - エ 横浜市立高等学校における「通級による指導」について **【資料 5】**  
**[答申関連項目] I ・ IV**
  - オ 「世界自閉症啓発デー in 横浜 2024」について **【資料 6】**  
**[答申関連項目] VI**

## 3 その他

### **[参考]答申（令和 2 年 6 月）における 6 つの大項目**

- 【項目 I】** 本人への支援
- 【項目 II】** 保護者及び家族への支援
- 【項目 III】** 支援機関の連携と役割分担
- 【項目 IV】** 支援体制の強化・充実
- 【項目 V】** 人材育成
- 【項目 VI】** 障害理解の促進・普及啓発



令和6年度 横浜市発達障害検討会委員名簿

(敬称略)

		氏 名	所 属
1	学識経験者	渡部 匡隆	横浜国立大学大学院 教育学研究科高度教職実践専攻
2	学識経験者	日戸 由刈	相模女子大学 人間社会学部
3	教育関係者	冢田 三枝子	横浜高等教育専門学校
4	医療従事者	高橋 雄一	横浜市東部地域療育センター
5	障害児・者の福祉に関する事業に従事する者	齊藤 共代	横浜市北部地域療育センター
6	障害児・者の福祉に関する事業に従事する者	阿部 浩之	地域活動ホーム ガッツ・ビーと西
7	障害児・者の福祉に関する事業に従事する者	桜井 美佳	横浜市発達障害者支援センター
8	障害児・者の福祉に関する事業に従事する者	池田 彩子	よこはま若者サポートステーション
9	障害児・者やその家族	伊原 文恵	神奈川LD等発達障害児・者親の会 にじの会
10	障害児・者やその家族	平下 和子	一般社団法人横浜市自閉症協会

令和6年度 横浜市発達障害検討委員会事務局名簿

	局名	補職名	氏名
事務局	健康福祉局	障害福祉保健部長	君和田 健
		障害施策推進課長	中村 剛志
		障害自立支援課長	今井 智子
		障害施設サービス課長	大津 豪
		精神保健福祉課長	中村 秀夫
		企画課長	松村 健也
	こども青少年局	こども福祉保健部担当部長	柴山 一彦
		医務担当部長	岩田 眞美
		障害児福祉保健課長	高島 友子
		青少年相談センター所長	山崎 三七子
		放課後児童育成課長	河原 大
		保育・教育支援課長	大槻 彰良
		保育・教育支援課人材育成・向上支援担当課長	八木 慶子
		企画調整課長	柿沼 千尋
	教育委員会事務局	インクルーシブ教育担当部長	西野 均
特別支援教育課長		金井 国明	
特別支援教育相談課長		小池 美恵子	
事務担当	健康福祉局	障害施策推進課相談支援推進係長	渡辺 弥美
		障害施策推進課担当係長	大野 和義
		障害自立支援課就労支援係長	大野 悟
		障害施設サービス課地域施設支援係長	坂井 良輔
		障害施設サービス課共同生活援助担当係長	佐藤 央一
		精神保健福祉課精神保健福祉係長	香月 正樹
	こども青少年局	障害児福祉保健課担当係長	嶋田 慶一
		障害児福祉保健課整備担当係長	枇榔 直子
		障害児福祉保健課担当係長	菅原 政則
	教育委員会事務局	特別支援教育課担当係長	野中 大介
		特別支援教育相談課担当係長	松本 亮介

## 令和 6 年度 横浜市発達障害検討委員会の検討内容について

## 1 横浜市発達障害検討委員会について

市内の発達障害児・者について、各ライフステージに対応する支援体制の整備を図り、発達障害児・者の福祉の向上を図ることを目的とした協議の場です。

横浜市障害者施策推進協議会運営要綱第 5 条に定める横浜市障害者施策推進協議会の部会として、平成 17 年から設置しています。

## 2 検討内容

## (1) 平成 30 年度以降の検討内容

## 【平成 30 年度～令和元年度】

テーマ：「軽度の知的な遅れを伴う、あるいは知的な遅れを伴わない発達障害児・者」への総合的な支援について

内容：平成 30 年度は、施策の再構築に係る方向性について議論しました。令和元年度には、市長からの諮問を受け、具体的な施策展開に関する答申※作成のための議論を行いました。

(※) 答申「軽度の知的な遅れを伴う、あるいは知的な遅れを伴わない発達障害児・者への具体的な施策の展開について（横浜市障害者施策推進協議会／令和 2 年 6 月 29 日）」

## ■ 概要

本答申では、横浜市が対象児・者への施策を展開するにあたりヒントとなる視点を、以下のとおり「横浜市発達障害施策の再構築に係る方向性」として掲げた 6 大項目・15 小項目ごとにとめて示しています。

## 【横浜市発達障害施策の再構築に係る方向性】

<b>I 本人への支援</b>
1 本人がその人らしく生きるための支援の充実
2 当事者の居場所の充実
3 二次障害（ひきこもり等）への対応力向上
4 成人期の課題に対する、本人支援の充実
<b>II 保護者及び家族への支援</b>
1 保護者及び家族に対する支援の充実【喫緊】
<b>III 支援機関の連携と役割分担</b>
1 支援機関の役割分担の明確化等による、効果的・効率的な対応【喫緊】
2 ライフステージを通し、切れ目のない支援を行うための、コーディネート機能の強化【喫緊】
3 医療と福祉の連携強化とネットワークの拡充
4 サービス情報提供システムの充実
<b>IV 支援体制の強化・充実</b>
1 就学前の対象者数増加に対する、支援体制の拡充【喫緊】
2 教育と福祉の連携等による、学齢期支援の強化
3 学齢後期における、支援の量的拡大と質的な向上【喫緊】

<b>V 人材育成</b>
1 発達障害に関する支援力を身につけた支援者の養成【喫緊】
<b>VI 障害理解の促進・普及啓発</b>
1 地域社会における共生の実現に向けた、社会全体の意識醸成
2 特に教育・就労の場面における、本人を取り巻く周囲への理解促進

※【喫緊】

全ての施策を一挙に実現することは現実的に困難であるため、【①重要性】【②緊急性】【③難易度（マンパワー・費用・時間の側面から）】の3つの視点を総合的に勘案した上で、特に喫緊に取り組むべきである項目として、整理しています。

■ 答申等に対する行政対応

答申で示された提言について、第4期障害者プラン等に反映の上、具体的な施策として展開していく。また横浜市発達障害検討委員会等で、取組状況や効果等を定期的に確認・検証する。

【令和2年度～令和3年度】

テーマ： 横浜市の発達障害児・者への施策展開に関するPDCAサイクルの、各段階における評価・検証

内容： 答申に記載した内容に関する、取組状況等の評価・検証を中心とした議論を行いました。

【令和4年度～令和5年度】

答申に基づき、横浜市の発達障害児・者への施策展開の評価・検証を中心とし、主に以下の内容について、議論を行いました。

- ・地域療育センターの取組について
- ・学齢後期障害児支援事業所（4か所目）の設置について
- ・発達障害者等及び家族等への支援体制の確保に係る取組について
- ・横浜国立高等学校における「通級による指導」について

(2) 令和6年度、令和7年度の検討内容

答申に基づき、横浜市の発達障害児・者への施策展開の評価・検証を中心とし、主に以下の内容について、議論を行います。

- ・地域療育センター・学齢後期障害児支援事業所における事業の実施状況について
- ・保護者支援に係る取組（ペアレントトレーニング）の実施状況について
- ・保護者支援に係る取組（ペアレントメンター、ピアサポート）の実施に係る検討状況について

3 令和6年度の開催日程

第60回（令和6年度第2回）： 令和7年2月5日（水）18時30分～20時30分

## 発達障害者等及び家族等への支援体制の確保に係る取組について

## 1 令和 5 年度実績等について

障害児通所支援事業所向けに以下の研修を実施しています。

日程：令和 6 年 2 月 15 日（木）9 時 30 分～12 時 30 分

内容：実践から学ぶ家族支援～ペアレントトレーニング入門～

## ○基調講演

「実践から学ぶ家族支援～ペアレントトレーニング入門：効果的なサポートとコミュニケーションのために～」

熊仁美氏（江戸川区発達相談・支援センター長、特定非営利活動法人 ADDS 共同代表）

## ○市内事業所から実践報告

「普段の家族支援とペアレントトレーニング：鶴見区での実践」

山本崇博氏（一般社団法人キッズライン代表、「キッズライン」相談支援専門員）

「家族支援の実践紹介と人材育成」

加藤仁氏（アロンジェ株式会社代表、「児童発達支援マルシェ」管理者）

## ○講師・実践報告者によるトークセッション

「効果的な家族支援を実践するために」

参加者：52 人（管理者、児童発達支援管理責任者、2 年以上の勤務経験がある常勤の直接支援員）

2 保護者支援を目的として実施するペアレントメンターやピアサポートに係る事業検討について  
7 年度以降の事業実施に向けて、学識経験者や関係団体等をメンバーとする検討の場を設置します。

## (1) メンバー

学識経験者

医療従事者

障害児・者福祉従事者

障害児・者やその家族

障害児・者やその家族

※その他、必要に応じて臨時委員の参加を検討する予定

## (2) 検討内容

- ・保護者支援に係る取組の実施状況の確認
- ・事業を進めるうえでの課題の整理
- ・今後の取組の方向性

## (3) 開催予定

令和 6 年 9 月以降に 3 回程度開催予定

## 地域療育センターにおける事業の実施について

## 1 巡回訪問について

障害のある児童が通う保育所、幼稚園、小学校等に、児童の特性に合わせた適切な支援方法の助言を行う「巡回訪問」を拡充するために、令和5年度に各地域療育センターにソーシャルワーカーを増員しました。

## (1) 実施回数について

年度	令和4年度	令和5年度
回数	2,092回	2,496回

## (2) 巡回訪問を実施した関係機関について

## (ア) 巡回訪問先内訳

施設名	保育所	幼稚園	認定 こども園	小学校	特別支援 学校(※)	訓練会	その他	計
訪問 施設数	828	254	41	193	18	18	23	1,375

※幼稚部を含みます。

## (イ) 実施内容について

その他は、地域子育て支援拠点、区福祉保健センター親子教室などです。また、担当している区以外についても、児童が在籍している区外、市外の保育園や特別支援学校等の関係機関に訪問を実施しています。

## (ウ) 令和6年度の取組について

全地域療育センターの巡回訪問担当者をメンバーとして、効果検証を行うための検討を実施する予定です(10月以降)。

検討内容等：ノウハウの共有や、把握している課題、ニーズの把握に向けた共通アンケートの実施方法等

## 2 初期支援事業ひろばの実施について

## (1) ひろば事業の利用児童数

年度	令和4年度	令和5年度
利用児童数	2,551人	4,455人

## (2) 令和6年度の取組について

令和6年度からは、すべての地域療育センターで初期支援事業(ひろば、専門職の相談)を実施しています。



## 学齢後期障害児支援事業の実施について

## 1 令和 5 年度の相談実績について

本人・保護者への相談支援件数 ※( )内は相談者数	7,509 件 (2,141 人)
相談内容内訳(のべ数)	
相談の対象となっている児(者)が発達障害かどうか知りたい	205 件
現在の生活に関することや、家庭で家族ができることを知りたい	2,539 件
利用できる制度について知りたい(手帳、年金、手当、障害福祉サービスなど)	811 件
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	734 件
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	1,527 件
進路や将来の生活に関する相談をしたい	512 件
対応困難な状況の改善について相談したい(強度行動障害、ひきこもりなど)	1,486 件
今後の就労について相談したい	218 件
現在勤めている職場に関する相談をしたい	28 件
その他	3,738 件
相談者内訳	
本人・家族	1,817 人
関係機関	324 人
関係機関への助言件数	92 件

## 2 その他

以下のとおり、4か所目の事業所を開設しています。

運営法人：社会福祉法人青い鳥

事業所名：学齢後期発達相談室みなと

住 所：神奈川区西神奈川 1-9-2

(最寄駅 JR・京急東神奈川駅もしくは東急東白楽駅)

## 横浜市立高等学校における「通級による指導」について

## 1 令和 5 年度の実績報告

- (1) 横浜総合高校での「自校通級」〔自閉症、情緒障害、学習障害、ADHD〕
  - ・学校設定科目「コーピング・アクティビティ」
  - ・申請のあった生徒 52 名を対象に指導を実施
  - ・通級担当専任教員 3 名を配置
  - ・専用教室（個別指導室と職員室が併設）の完成（11 月より利用開始）
  - ・心理相談員を派遣し、希望者に心理検査（ウェクスラー式知能検査）を実施
- (2) 盲特別支援学校・ろう特別支援学校での「他校通級」〔弱視、難聴、言語障害〕
  - ・必要に応じて指導や相談を受けることができる体制を整備
  - ・5 年度は利用申請なし
  - ・引き続き、特別支援学校のセンター的機能で全校を支援

## 2 令和 6 年度の実施状況

- (1) 横浜総合高校での「自校通級」〔自閉症、情緒障害、学習障害、ADHD〕
  - ・学校設定科目「コーピング・アクティビティ」
  - ・申請のあった生徒 61 名を対象に指導を実施
  - ・通級担当専任教員 5 名を配置
  - ・教科指導教員が通級指導に当たれるよう、週 18 時間分非常勤講師を配置
- (2) 盲特別支援学校・ろう特別支援学校での「他校通級」〔弱視、難聴、言語障害〕
  - ・申請のあった生徒 1 名を対象に、ろう特別支援学校での他校通級を実施
- (3) 市立高校全校を対象にした「巡回指導」〔自閉症、情緒障害、学習障害、ADHD〕
  - ・拠点校（横浜総合高校）の通級担当専任教員が各校へ巡回し指導
  - ・申請のあった生徒 8 名を対象に指導を実施（実施校 5 校）
  - ・月 1～2 回程度、1 回あたり 1～2 単位時間（50 分～100 分程度）
  - ・通常の授業に支障のない時間を設定
- (4) 教職員への研修等
  - ・特別支援教育コーディネーター協議会での担当者向け研修（7 月実施・12 月実施予定）
  - ・ろう特別支援学校教員による教員対象研修会の実施（7 月他校通級実施校にて実施）
- (5) 通級による指導に関する相談体制
  - ・拠点校によるセンター機能を活用した「通級による指導」への相談体制の整備
- (6) 各校での「通級による指導」に関する周知
  - ・横浜市 web サイトでの周知  
市立高校における「通級による指導」について  
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/hischool/tuukyuu.html>
  - ・在校生への案内 通年
  - ・新入生への案内 3 月（新入生説明会にて）



明日をひらく都市

OPEN × PIONEER  
YOKOHAMA令和6年3月15日  
教育委員会事務局特別支援教育課

▲昨年度のライアップの様子

「世界自閉症啓発デー」は、世界各国で自閉症をはじめとする発達障害への理解を深めることを目的に、平成19年12月に国連が制定しました。

日本では、厚生労働省が「発達障害啓発週間」を定め、自閉症をはじめとする発達障害について普及啓発を実施しています。横浜市でもこの取組を推進するため、関連イベントを実施します。

## ■ LIGHT IT UP BLUE 2024 — 横浜を青く照らす —

「癒し・希望・平穏」を表し、世界自閉症啓発デーのシンボルカラーである、ブルーの光で横浜市内の観光スポットなどをライトアップします。

今年は新たに「横浜スタジアム」が加わるほか、改修工事を終えた「横浜市開港記念会館」でも3年振りにブルーライトアップを実施します。

【日時】令和6年4月2日（火）～8日（月） ※会場ごとに点灯時間は異なります。

【場所】● よこはまコスモワールド 大観覧車「コスモクロック21」（中区新港2-8-1）

● 女神橋（西区みなとみらい1-1）

● 横浜ハンマーヘッド（中区新港2-14-1）

● 象の鼻パーク（中区海岸通1）

● 神奈川県庁本庁舎（中区日本大通1）

● 横浜市庁舎（中区本町6-50-10）

● 横浜マリンタワー（中区山下町14-1）※4月2日のみ

● 日産スタジアム（港北区小机町3300）※4月2日のみ

● NEW 横浜スタジアム（中区横浜公園）

● 横浜市開港記念会館（中区本町1-6）



## ■ 横浜市立図書館パネル展 — みんなで知ろう発達障害 —

横浜市内の図書館において、発達障害の理解に役立つパネル展示を行います。また、通常は分野ごとに配架している発達障害に関する書籍の中から、ご紹介したい本を集めて展示・貸出を行います。ぜひ、ご覧ください。

### 【日時・会場】

- 令和6年3月19日（火）～4月14日（日）  
中央図書館 4階（西区老松町1）
- 令和6年3月23日（土）～3月31日（日）  
神奈川図書館（神奈川区立町20-1）
- 令和6年4月3日（水）～4月14日（日）  
旭図書館（旭区白根4丁目6-2）



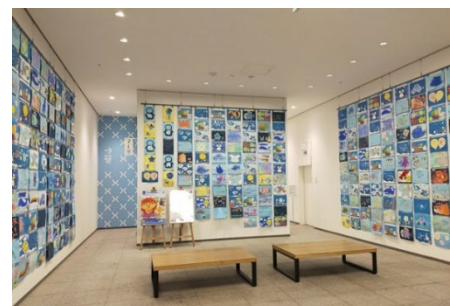
## ■ ブルーフラッグの展示（社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団 × 一般社団法人横浜市自閉症協会）

横浜市内4か所の地域療育センター※と横浜市総合リハビリテーションセンターに通う子どもたちが、シンボルカラーである青色の画用紙を使って作成した、素敵なブルーフラッグを各会場で展示します。個性あふれる作品をぜひ会場でご覧ください。<協力>トレッサ横浜、西武東戸塚S.C.

※地域療育センター：0歳から小学校期までの障害児の療育に関する相談・診療・指導等を行う施設

### 【日時・会場】※作品展示は各施設の営業時間内

- 令和6年3月23日（土）～4月2日（火）  
トレッサ横浜 南棟3階（港北区師岡町700）
- 令和6年3月28日（木）～4月7日（日）  
横浜市庁舎 1階 展示スペースB  
（中区本町6-50-10）
- 令和6年4月1日（月）12時～4月8日（月）17時まで  
西武東戸塚S.C. 7階ファーストブリッジ  
（戸塚区品濃町537-1）



## 世界自閉症啓発デーをきっかけに、自閉症や発達障害の理解をもっと深めませんか？

横浜市では、一般社団法人横浜市自閉症協会と学校法人岩崎学園との協働により、自閉症の理解啓発を目的とした動画を制作しています。

動画及びその他のイベント情報も、横浜市ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



世界自閉症啓発デー in 横浜 検索

本事業は、横浜市（健康福祉局・こども青少年局・教育委員会事務局）と一般社団法人横浜市自閉症協会※との共催で実施します。  
※ 一般社団法人横浜市自閉症協会は、横浜で暮らす自閉スペクトラム症児・者とその家族や支援者等で構成される団体で、自閉症に関する勉強会や相談会、広報啓発活動を行っています。

### お問い合わせ先

（LIGHT IT UP BLUE 及び市立図書館パネル展に関すること）

教育委員会事務局特別支援教育課 金井 国明 Tel 045-671-3958

（ブルーフラッグの展示に関すること）

社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール文化事業課長 和田 剛 Tel 045-475-2055



# 世界自閉症啓発デー in 横浜 2024



毎年4月2日は「世界自閉症啓発デー」  
4月2日～8日は「発達障害啓発週間」

「世界自閉症啓発デー」は、世界各国で自閉症をはじめとする発達障害への理解を深めることを目的に、平成19年12月に国連が制定しました。

日本では、厚生労働省が「発達障害啓発週間」を定め、自閉症をはじめとする発達障害について普及啓発を実施しています。横浜市でもこの取組を推進するため、関連イベントを実施します。

## LIGHT IT UP BLUE 2024 — 横浜を青く照らす —

「癒し・希望・平穏」を表し、自閉症啓発デーのシンボルカラーである、ブルーの光で市内の観光スポットなどをライトアップします。



「#世界自閉症啓発デー」  
でシェアしよう👍

### 【日時】

令和6年4月2日（火）～4月8日（月）  
※ 会場ごとに点灯時間は異なります。

### 【場所】

- よこはまコスモワールド  
大観覧車「コスモクロック21」（中区新港2-8-1）
- 横浜マリントワー（中区山下町14-1）※4月2日のみ
- 横浜市庁舎（中区本町6-50-10）
- 女神橋（西区みなとみらい1-1）
- 横浜ハンマーヘッド（中区新港2-14-1）
- 象の鼻パーク（中区海岸通1）
- 神奈川県庁本庁舎（中区日本大通1）
- 日産スタジアム（港北区小机町3300）※4月2日のみ
- 横浜スタジアム（中区横浜公園）
- 横浜市開港記念会館（中区本町1-6）

## 市立図書館パネル展 — みんなで知ろう発達障害 —

市内の図書館において通常は分野ごとに配架している発達障害に関する書籍の中から、ご紹介したい本を集めて展示・貸出を行います。  
発達障害の理解に役立つパネル展示も、あわせてご覧ください。

### 【日程及び会場】

- 令和6年3月19日（火）～4月14日（日）  
中央図書館 4階（西区老松町1）
- 令和6年3月23日（土）～3月31日（日）  
神奈川図書館（神奈川区立町20-1）
- 令和6年4月3日（水）～4月14日（日）  
旭図書館（旭区白根4丁目6-2）





# 「世界自閉症啓発デー in 横浜 2024」に関連したイベント

## ブルーフラッグの展示

市内4か所の地域療育センター※と横浜市総合リハビリテーションセンターに通う子どもたちが、青色の画用紙を使って作成した、素敵なブルーフラッグを各会場で展示します。個性あふれる作品をぜひ会場でご覧ください。

(※ 地域療育センター…0歳から小学校期までの障害児の療育に関する相談・診療・指導等を行う施設)



【日程及び会場】※作品展示は各施設の営業時間内

- 令和6年3月23日(土)から4月2日(火)  
トレッサ横浜 南棟3階(港北区師岡町700)
- 令和6年3月28日(木)から4月7日(日)  
横浜市役所 1階 展示スペースB(中区本町6-50-10)
- 令和6年4月1日(月)12時から8日(月)17時まで  
西武東戸塚S.C. 7階ファーストブリッジ  
(戸塚区品濃町537-1)

【主催】(社福)横浜市リハビリテーション事業団  
(一社)横浜市自閉症協会

【協力】トレッサ横浜、西武東戸塚S.C. **共同開催**

## DANCE@RAPPORT ラポールシアターのダンスフロアで踊ろう!! 世界自閉症啓発デースペシャル

ラポールシアターがダンスフロアに変身!DJの流す音楽とシンボルカラーのブルーの光の演出に合わせて自由にダンス!

【日時】3月30日(土)13:30~15:30(途中入場・途中退場可)

【場所】障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール  
「ラポールシアター」(港北区鳥山町1752)

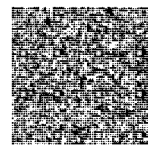
【定員】95名(申込み先着順)

【対象】障害のある方とその家族、介助者  
※ 車いすの方も参加できます

【主催】(社福)横浜市リハビリテーション事業団  
(一社)横浜市自閉症協会 **共同開催**



詳細はラポールの  
情報発信サイトで  
ご確認ください。



## 世界自閉症啓発デーをきっかけに、 自閉症や発達障害の理解をもっと深めませんか?

横浜市では、一般社団法人横浜市自閉症協会と学校法人岩崎学園との協働により、自閉症の理解啓発を目的とした動画を制作しています。

動画及びその他のイベント情報等も、横浜市ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

世界自閉症啓発デー in 横浜



横浜市営地下鉄(ブルーライン・グリーンライン)車内ビジョンで動画を放映します。

【期間】4月1日(月)~4月7日(日)